

関西医科大学 大学院医学研究科 修士課程

入学相談
随時受付

メールや電話でも
気軽にお問合せください

急速に進歩する医科学研究の
世界に飛び込み、キャリアアップを目指そう！



修士課程授業時間割(例)

【1学期：4月～8月】

	月	火	水	木	金
1時限 (9:00-10:30)					
2時限 (10:40-12:10)					
3時限 (13:00-14:30)					
4時限 (14:40-16:10)					
5時限 (16:20-17:50)				ゲノム解析学 (選択：ゲノム医科学) ※2年次配当	統計遺伝学 (選択：ゲノム医科学) ※2年次配当
6時限 (18:00-19:30)	医科学概論I (共通)	医科学概論III (共通)	医学英語 (共通)	医科学概論II (共通)	臨床病態治療学 (選択：医用工学) ※2年次配当
7時限 (19:40-21:10)					大学院総合講義 (共通)

【2,3学期：9月～3月】

	月	火	水	木	金
1時限 (9:00-10:30)					
2時限 (10:40-12:10)					
3時限 (13:00-14:30)					
4時限 (14:40-16:10)		生命情報処理科学 (選択：ゲノム医科学)			
5時限 (16:20-17:50)	免疫・アレルギー (選択：先端医科学)	ゲノム医科学 (選択：ゲノム医科学)	神経科学 (選択：先端医科学)	再生医学 (選択：先端医科学)	
6時限 (18:00-19:30)	社会連携医工学 (選択：医用工学)	がん生物学 (選択：先端医科学)	生体計測工学 (選択：医用工学)	創薬科学 (選択：先端医科学)	大学院総合講義 (共通)
7時限 (19:40-21:10)	医工学生活支援概論 (選択：医用工学)				

令和8年度
修士課程
募集

一般入試 通常2年コース

社会人入試 通常2年コース・長期履修3年コース

	第一次募集	追加募集※
定員	8名	
出願資格審査書類 受付期間 ※出願に際し資格審査が必要な場合があります。	令和7年 7月 7日(月)～ 令和7年 7月 18日(金)	令和7年 10月 14日(火)～ 令和7年 10月 24日(金)
願書受付期間	令和7年 7月 7日(月)～ 令和7年 8月 1日(金)	令和7年 10月 14日(火)～ 令和7年 11月 21日(金)
入学試験期日	令和7年 8月 16日(土)	令和7年 12月 6日(土)

※第一次募集で定員に達した場合は追加募集を実施しません。

募集要項はホームページに掲載していますので、ご参照ください。 <https://www.kmu.ac.jp/juk/>



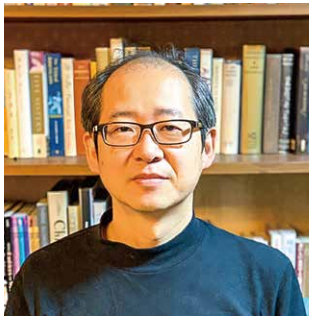
関西医科大学 医学部事務局 大学院課
〒573-1010 大阪府枚方市新町二丁目5番1号
TEL 072-804-2305 (内線 2225)
E-mail gradumed@hirakata.kmu.ac.jp

《大学院課受付時間》 平日 午前9時～午後5時10分 / 第1・3・5土曜日 午前9時～午後1時

医学・医療の分野で社会に貢献！

先端医科学分野(薬理学講座)
中邨 智之 教授

「先端医科学」分野では、近年飛躍的な進歩を遂げる iPS・幹細胞医学や神経・免疫といった高次生命現象分野において、大学や企業の研究所での科学研究・医学研究を技術的にサポートする人材や、これら専門化する医学知識を一般社会に適切に還元できるだけの科学リテラシーを持った人材の育成を目指しています。もちろん、より深く研究を極めたい人には大学院博士課程に進んで医学博士になる道も開けています。様々な医学研究のテーマが揃っており、興味のあるものを選ぶのもこの分野の特長です。



ゲノム医科学分野(附属生命医学研究所ゲノム解析部門)
日笠 幸一郎 研究所教授

近年のゲノム解析技術の進歩により、ヒトゲノム情報が容易に得られるようになりました。我々のゲノム配列上には様々な変異が生じており、それらが疾患の発症や体質差、薬剤の感受性や副作用などに関わっていることが分かってきています。このような情報を活用することによって、疾患の発症予防や個人に最適な治療方針の選択に役立てることができます。ゲノム医科学分野にて最先端のゲノム解析技術や知識を修得し、ゲノム情報に基づく個別化医療の発展に資する研究に携わってみませんか。

医用工学分野(数学教室)
北脇 知己 教授

「医用工学分野」では、生体計測工学・情報工学・ロボット工学等における先端的な知識と技術を臨床医学や健康科学などのニーズに結び付けることで、新しいヘルスケアを理解し医用工学技術を生活支援や生体再建など社会へ実践応用できる人材を育成します。
具体的には、運動・スポーツ医学、栄養学、心理学、行動科学、リハビリテーション医学、医用物理学など幅広い分野の研究を行うだけでなく、ヘルスケア領域における MBA 的要素として健康経営、マーケティング、イノベティブな思考や実践などの修得を目指します。



INTERVIEW

在学生インタビュー

先端医科学分野／
iPS・幹細胞再生医学
(令和6年度 入学)
第2学年 児玉 千夏



私は再生医療業界で3年間勤務した後、本学の修士課程へ進学しました。進学を決めたきっかけは、学生時代に本学で約半年間、卒業研究として共同研究を経験しましたが、限られた期間では研究技術や知識を十分に深めることは容易ではありませんでした。卒業後、専門的な知識が求められる現場で日々充実感を得ていましたが、より深い知識を身につけて自分のスキルをさらに高めたいという思いが強まり、本学修士課程への進学を決意しました。修士課程では、再生医療分野の知識を体系的に深めるとともに、その学びを今後のキャリアで生かしたいと考えております。

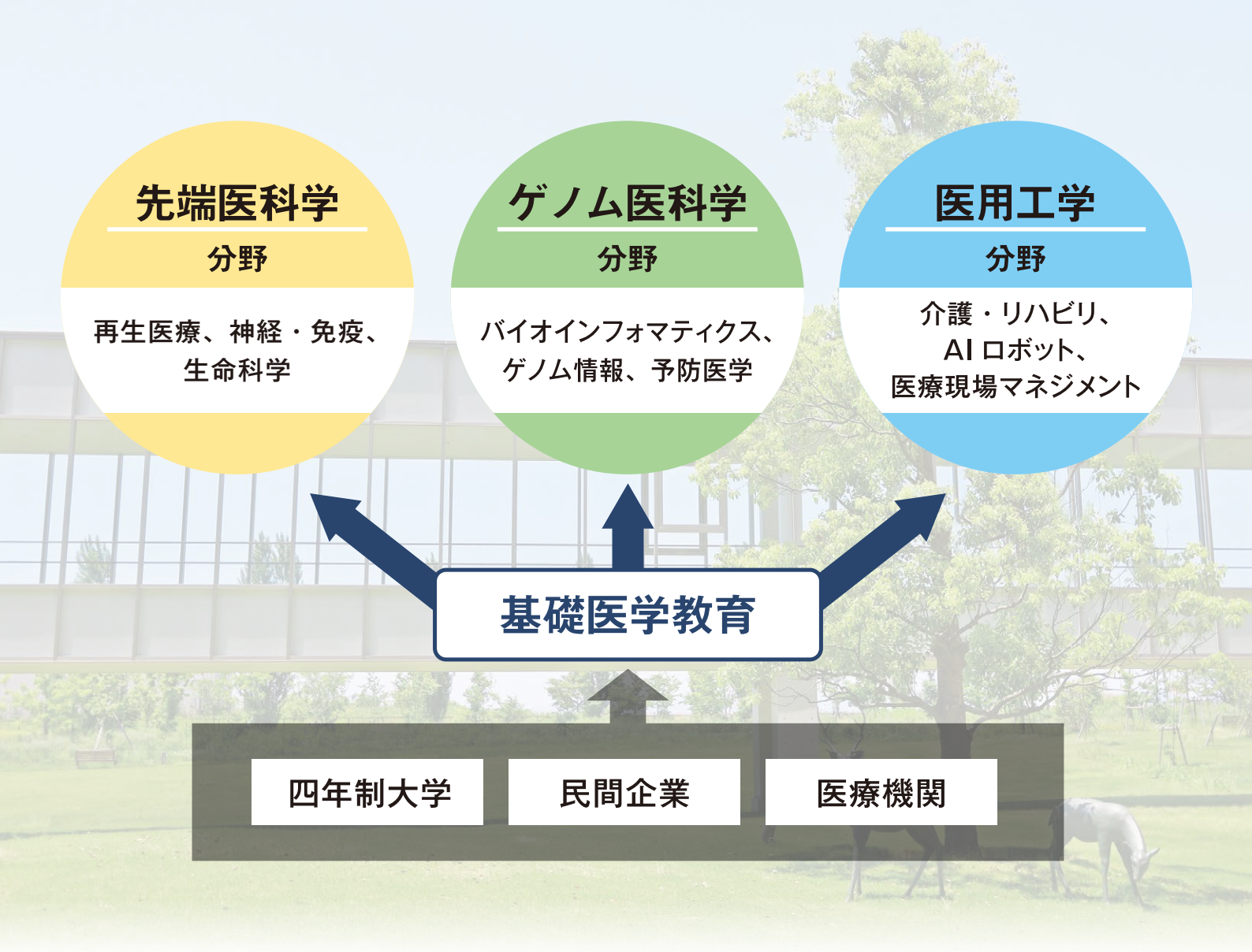
INTERVIEW

修了生インタビュー

医用工学分野／健康科学
(令和6年度 修士課程修了、
令和7年度 博士課程進学)
浅田 翔太



健康運動指導士として病院で心疾患や生活習慣病患者の運動療法に携わる中、運動の有効性を医学的に検証したいと考え、修士課程に進学しました。日中は業務に従事しつつ、夜間に講義を受講し、対面・オンラインの柔軟な体制に支えられました。基礎から臨床まで幅広い内容を学び、心疾患患者の心肺機能に関する臨床研究では、専門家の先生方から多角的な助言もいただきました。こうした学びと研究に集中できる環境が整っていることに加え、学費負担の少なさも魅力であり、博士課程でもこの恵まれた環境で研究に取り組みめると考え、進学を決意しました。今後も医療者として、そして研究者として、より良い医療の提供に貢献したいと考えています。



多様なバックグラウンドを持つ学生をサポートする体制が整っています。

- 授業料免除制度** 成績優秀者は授業料が免除されます(収入の審査があります)。
- 社会人コース** 各種医療機関、官公署・民間会社等に在職しながら学ぶことができます。
- 長期履修制度** 標準修業年限は2年ですが、社会人等、研究時間に制限のある方は3年間で学位を取得することができます。授業料の合計は通常2年間のコースと同額です。

附属生命医学研究所

本学の附属生命医学研究所は総合研究施設、実験動物飼育共同施設、アイソトープ実験施設を擁しており、様々な最先端機器や設備を備えています。



- 学生納付金**
 - 入学金 200,000円
 - 授業料(実習費込) 400,000円(年額)
 - 学生教育研究災害傷害保険加入料(2年間) 1,750円 (3年間長期履修) 2,600円
- ※長期履修制度の場合は初年度のみ280,000円(年額)、2年目以降260,000円(年額)。